

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リコシェ・ラッシュ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.516	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤

比較対照ボール：リコシェ・リベンジ

フレアーの幅 インチ

表面加工

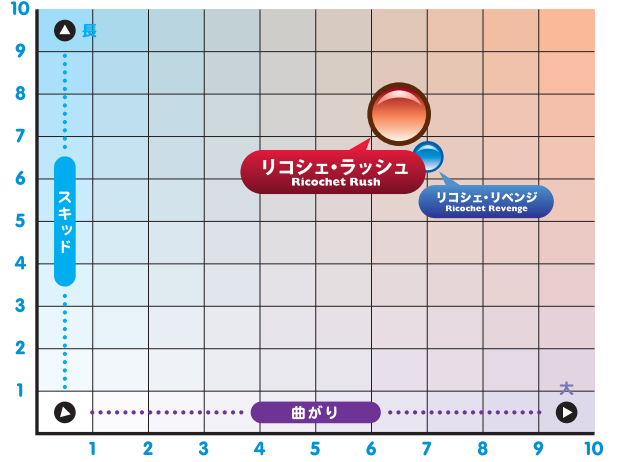
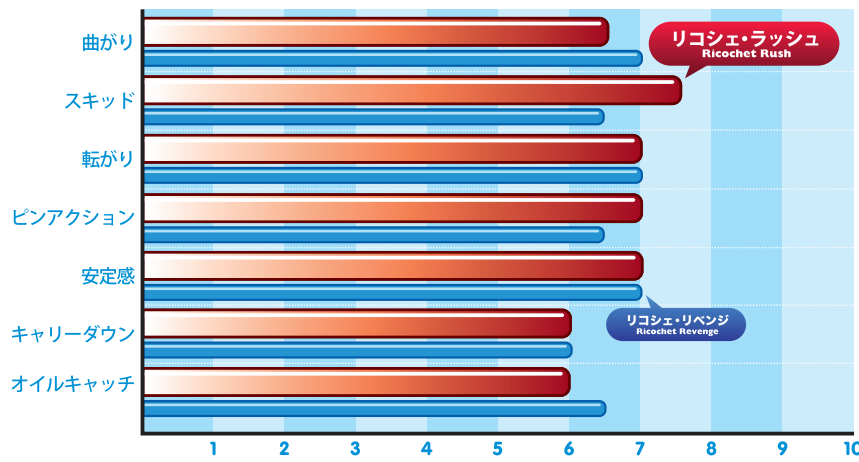
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil
バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle
レンジ	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

ボールの評価

リコシェファン待望の最新作はラッシュです。この「リコシェ・ラッシュ」は「ラッシュ」という名の如く、走りとキレを求め爆発力を感じさせるバージョンです。投球したイメージは、**今まで発売されたリコシェシリーズ中、最も走りを感じさせます。やはりドライゾーンでの反応は、今までのリコシェシリーズと同様、非常にアグレッシブに仕上がっています。**この「リコシェ・ラッシュ」に関わらず、走って切れるイメージのボールは、オイルの量並びにキャリーダウンに左右されやすいのも確かでしょう。しかし、現在もリコシェブランドがヒットし続けているのも、そのバックエンドのリアクションに魅了されているからでしょう。必要なのはボールの性能が万能ではなく、コンディションとその用途に合わせ使用するべきもので、すべてのコンディションでその性能は発揮できません。この「リコシェ・ラッシュ」はさらに走りを求め、ドライゾーンでの動きを重視しています。走りを強調させた分オイルに左右されることもあるでしょう。その不条理な部分を天秤にかけてもドライゾーンでのアグレッシブな動きに賭けるボウラーも多いはず。さあラッシュの性能を引き出せるボウラーの挑戦を ABS は待っています。

特記事項

まさに走って切れる真髓がラッシュにはあります。ボウラーの「高いレベルでの性能の開放」この挑戦を受け取ってください。